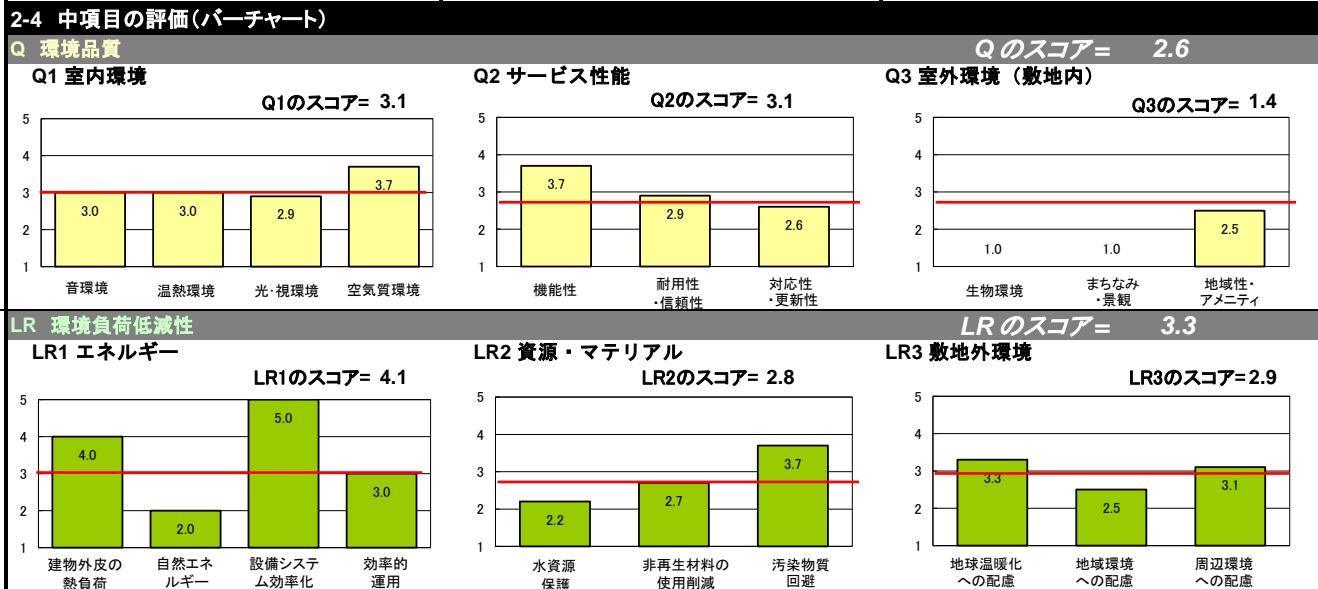
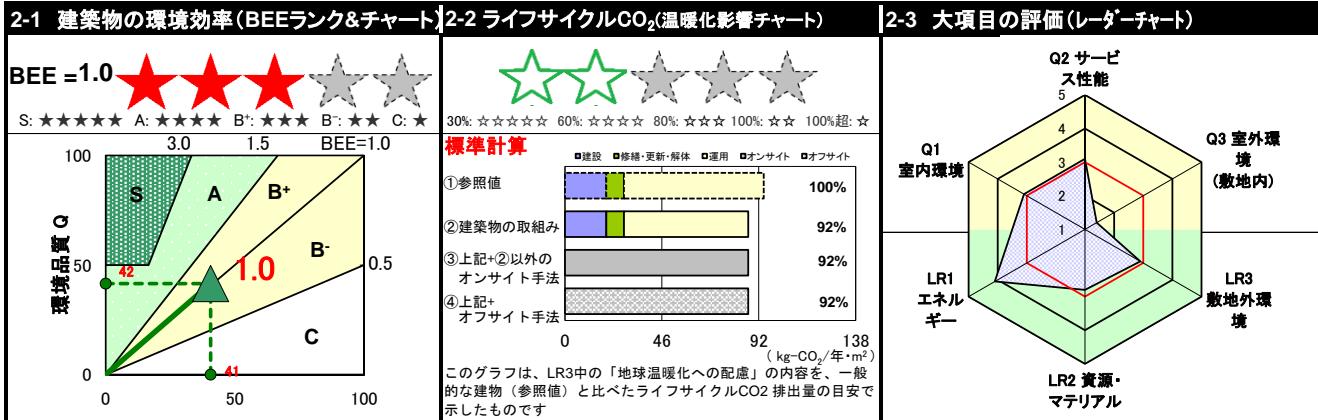


CASBEE® 名古屋

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 評価指針2016年版、名古屋市環境省資源省エネルギー省マニュアル2016

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)名古屋市中区栄5丁目新築賃貸マンション計画 新築工事	階数	地上15F
建設地	愛知県名古屋市中区栄5丁目2326番	構造	RC造
用途地域	市街化区域/準防火地域	平均居住人員	70 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2025年11月18日
敷地面積	550 m ²	作成者	
建築面積	220 m ²	確認日	2025年11月18日
延床面積	2,517 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・外皮に十分な断熱性能を施して熱損失を抑制すると共に、敷地内温熱環境の向上や資源の保護に努めています。		
Q1 室内環境		Q3 室外環境 (敷地内)
・居室単位でエアコンを採用しており、冷暖は室単位にて 設定でき、制御性に優れています。 ・F★★★★をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空 気質汚染を回避しています。		・連続する塀ではなく見通しのいいフェンスを採用する ことで防犯性・防災性に配慮しています。
LR1 エネルギー		LR3 敷地外環境
・外皮性能を等級4仕様で熱負荷抑制へ配慮していま す。		・屋根や外壁の外皮に十分な断熱性能を施し建具には複 層ガラスを採用して熱損失を抑制しています

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)中区栄5丁目新築賃貸マンション計画 新築工事

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目	評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策			3.8
LR1 エネルギー	4.1	0.4	
LR3.1 地球温暖化への配慮	3.3	0.1	
LR3.2.2 溫熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生			1.6
Q3.1 生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009
Q3.2 まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会			2.6
LR2.1 水資源保護	2.2	0.06	
LR2.2 非再生性資源の使用量削減	2.7	0.18	
LR3.2.3 地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.8



2. 自然共生

評価点 = 1.6



3. 循環型社会

評価点 = 2.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3.3.1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3.2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3.3.1の全体に対する重みに0.2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3.2.3のうち、LR3.2.3.3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3.2.3の評価点とは異なるものである。